



# 平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月6日

上場取引所 東

上場会社名 三井海洋開発株式会社  
 コード番号 6269 URL <http://www.modec.com/jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎 俊郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 高野 育浩

TEL 03-5290-1200

四半期報告書提出予定日 平成28年5月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 「2016年12月期 第1四半期決算補足説明資料」

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	52,962	△27.2	1,778	292.9	4,496	114.6	3,515	—
27年12月期第1四半期	72,722	△13.8	452	△63.4	2,095	△28.1	△271	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △8,377百万円 (—%) 27年12月期第1四半期 △3,478百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	62.33	—
27年12月期第1四半期	△4.81	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	330,054	105,618	28.2
27年12月期	354,464	114,983	28.7

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 92,959百万円 27年12月期 101,555百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年12月期	—	17.50	—	17.50	35.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	18.75	—	18.75	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	120,000	△23.5	3,500	—	7,000	160.3	4,000	—	70.91
通期	230,000	△22.2	7,000	37.9	15,000	17.0	9,000	54.5	159.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期1Q	56,408,000 株	27年12月期	56,408,000 株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	663 株	27年12月期	663 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期1Q	56,407,337 株	27年12月期1Q	56,407,337 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。  
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政策効果等を背景に企業収益や雇用情勢に改善が見られ、個人消費も所得環境の持ち直しが続き底堅く推移しており、緩やかな景気回復基調となりました。海外においては、新興国の景気減速が長期化する一方で、米国では個人消費や民間住宅投資が増加するなど、全体として景気の回復が持続しております。

原油価格は中国経済の不透明感やイランでの増産観測等を背景とした供給過剰懸念が続いていることから低迷し、WTIは1バレル30米ドル台を中心に推移しました。しかしながら、こうした原油価格のもとにおいてもエネルギー資源の持続的な供給の観点から、石油会社による開発は継続的に行われると考えられ、当社グループの主要事業である浮体式海洋石油・ガス生産設備に関する事業は中長期的に安定的な成長が期待されています。

こうした状況のもと、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、既存プロジェクトの仕様変更並びにオペレーションサービス等により、受注高は9,836百万円（前年同期比40.9%増）となりました。売上高はFPSO建造工事の進捗により52,962百万円（前年同期比27.2%減）となりました。

利益面では、FPSO建造工事の進捗により営業利益は1,778百万円（前年同期比292.9%増）となりました。経常利益は、リース事業を行っている持分法適用関連会社による安定的な持分法投資利益の計上により、4,496百万円（前年同期比114.6%増）となりました。また、上記に加え法人税等の負担が減少したこと等により親会社株主に帰属する四半期純利益は3,515百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失271百万円）となりました。

なお、当社グループは、浮体式石油生産設備の建造及びこれに関連する各種サービスを提供する単一の事業を展開しているため、セグメント別の業績等の記載は省略しております。

## (参考)

当第1四半期連結累計期間における連結損益、持分法適用関係会社の損益の当社出資比率相当額並びに未実現利益の損益への影響額は以下のとおりとなっております。

(単位:百万円)

	当第1四半期 連結累計期間	持分法適用 関係会社 当社出資 比率相当額	持分法投資 利益調整	小計 (持分法投資 利益調整後)	未実現利益 影響額控除 (消去及び 実現に係る 影響額)	合計 (未実現利 益影響額 控除後)
営業利益	1,778	5,747	—	7,526	1,295	8,821
経常利益	4,496	3,563	△2,659	5,400	1,295	6,696
法人税等	856	901	—	1,758	179	1,938
非支配株主に 帰属する 四半期純利益	124	—	—	124	59	183
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	3,515	2,659	△2,659	3,515	1,055	4,571

(注) 本表は、連結損益、持分法適用関係会社の損益の当社出資比率相当額、及び未実現利益の消去並びに実現に係る影響額を、当社が独自に算出して単純合算及び控除したものであり、有限責任あずさ監査法人によるレビューは受けておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産の状況は、主に現金及び預金と売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末比24,409百万円減少し330,054百万円となりました。

負債は、主に買掛金が減少したことにより、前連結会計年度末比15,044百万円減少し224,436百万円となりました。

純資産は、主に繰延ヘッジ損益及び為替換算調整勘定が減少したことにより、前連結会計年度末比9,365百万円減少し105,618百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の連結業績予想につきましては、平成28年2月9日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用に関しては、一部の連結子会社において、主として当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	57,956	41,364
売掛金	145,752	130,543
たな卸資産	3,814	2,996
短期貸付金	20,239	23,134
その他	15,753	17,058
貸倒引当金	△1,395	△1,233
流動資産合計	242,120	213,864
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	15,982	14,081
その他(純額)	2,502	2,309
有形固定資産合計	18,485	16,390
無形固定資産		
のれん	3,423	3,109
その他	4,053	3,916
無形固定資産合計	7,476	7,025
投資その他の資産		
投資有価証券	50,987	51,534
関係会社長期貸付金	27,009	28,748
長期預金	—	2,509
その他	10,208	11,686
貸倒引当金	△1,823	△1,703
投資その他の資産合計	86,381	92,774
固定資産合計	112,343	116,190
資産合計	354,464	330,054
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	145,230	131,022
短期借入金	—	2,252
1年内返済予定の長期借入金	6,044	5,855
未払費用	8,822	8,663
未払法人税等	4,360	4,822
前受金	4,031	4,550
賞与引当金	12	89
役員賞与引当金	14	—
保証工事引当金	6,699	6,299
修繕引当金	3	3
その他の引当金	5	5
その他	2,028	2,044
流動負債合計	177,251	165,609
固定負債		
長期借入金	50,219	46,541
退職給付に係る負債	220	223
その他	11,790	12,062
固定負債合計	62,229	58,827
負債合計	239,481	224,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,122	30,122
資本剰余金	30,852	30,852
利益剰余金	38,259	40,788
自己株式	△1	△1
株主資本合計	99,232	101,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	△29
繰延ヘッジ損益	△15,667	△20,035
為替換算調整勘定	18,170	11,434
在外子会社の退職給付債務等調整額	△187	△171
その他の包括利益累計額合計	2,322	△8,802
非支配株主持分	13,428	12,659
純資産合計	114,983	105,618
負債純資産合計	354,464	330,054

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	72,722	52,962
売上原価	68,900	48,164
売上総利益	3,821	4,797
販売費及び一般管理費	3,369	3,019
営業利益	452	1,778
営業外収益		
受取利息	791	939
持分法による投資利益	1,823	2,659
デリバティブ評価益	2,097	1,242
その他	200	301
営業外収益合計	4,913	5,142
営業外費用		
支払利息	158	379
為替差損	3,001	2,012
その他	111	32
営業外費用合計	3,271	2,425
経常利益	2,095	4,496
特別損失		
関係会社清算損	114	—
固定資産撤去費用	144	—
固定資産撤去費用引当金繰入額	615	—
特別損失合計	874	—
税金等調整前四半期純利益	1,220	4,496
法人税、住民税及び事業税	2,047	1,272
過年度法人税等	3	—
法人税等調整額	△689	△416
法人税等合計	1,361	856
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△140	3,639
非支配株主に帰属する四半期純利益	131	124
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△271	3,515



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△140	3,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△36
繰延ヘッジ損益	△1,593	667
為替換算調整勘定	1,547	△3,588
在外子会社の退職給付債務等調整額	6	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,303	△9,078
その他の包括利益合計	△3,338	△12,017
四半期包括利益	△3,478	△8,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,525	△7,609
非支配株主に係る四半期包括利益	46	△768

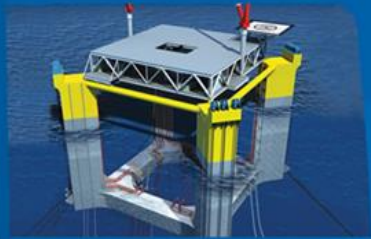
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



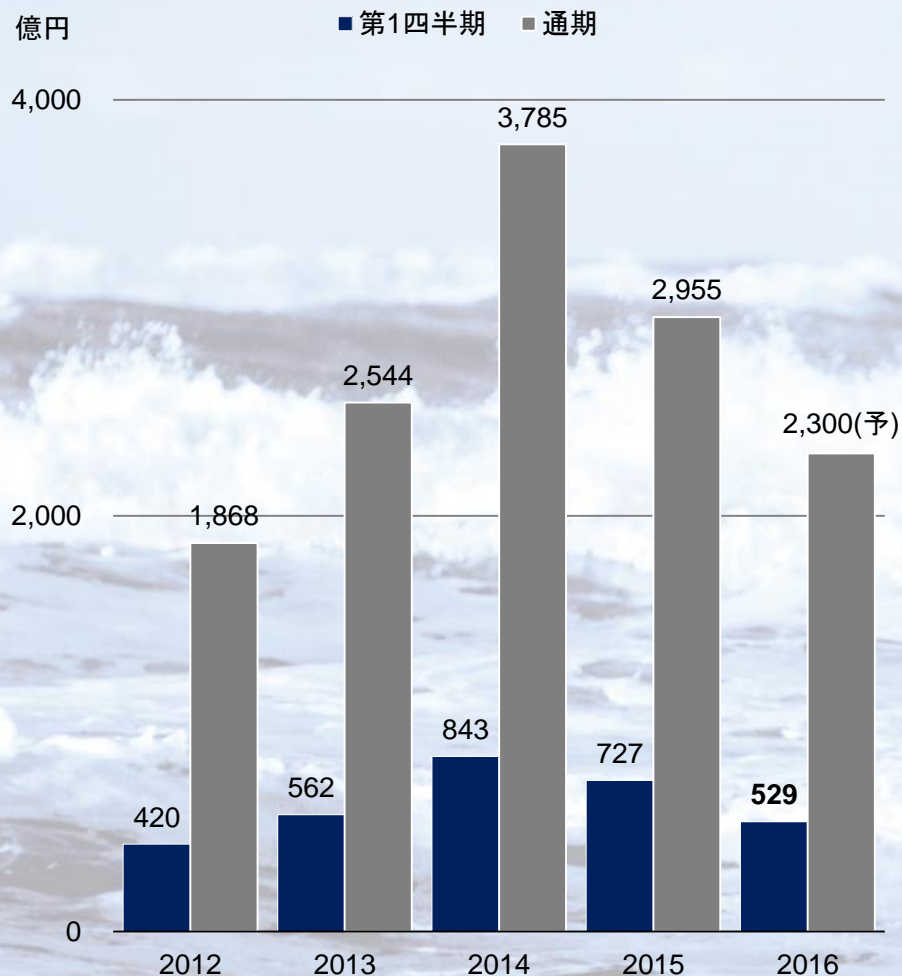
三井海洋開発株式会社  
2016年12月期 第1四半期  
決算補足説明資料

2016年5月6日



# 2016年12月期 第1四半期：業績の概況①

## 売上高



- 売上高は529億円
- 第1四半期に造船所から操業予定海域に向けて出航したMV25及びMV27の進捗率がスローダウン
- 一方、MV29及びCulzeanについては建造工事が順調に進捗し、工事の進行に従って計上する売上が前年同期比で大幅に増加
- 昨年第3四半期にオペレーションを開始したMV26がオペレーションの売上に貢献

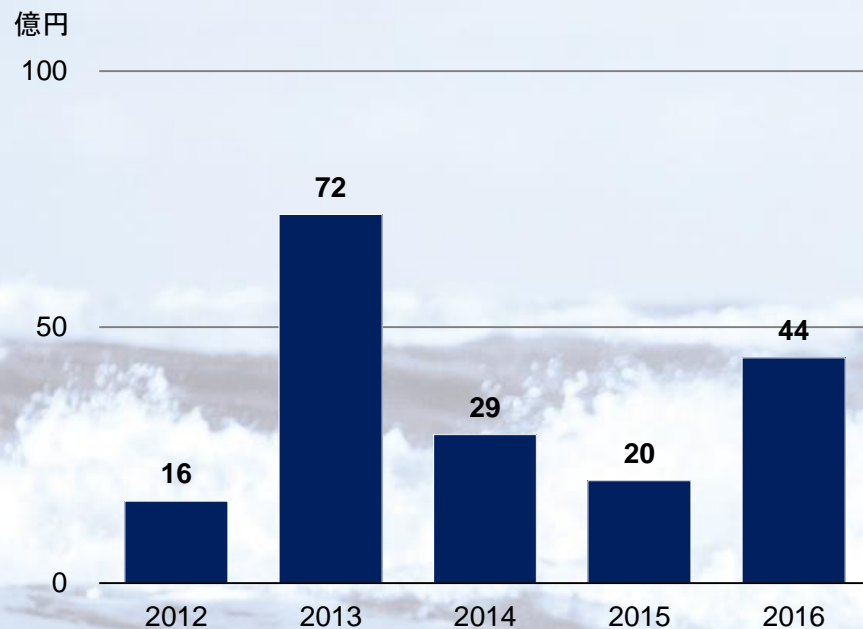


FPSO Cidade de Itaguaí MV26

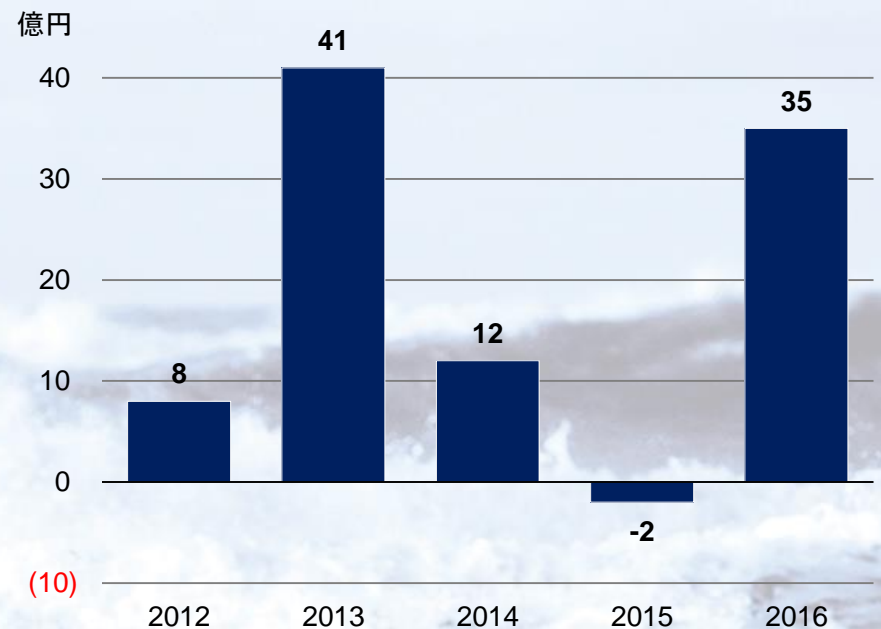


## 2016年12月期 第1四半期：業績の概況②

### 経常利益(第1四半期)



### 親会社株主に帰属する四半期純利益 (第1四半期)



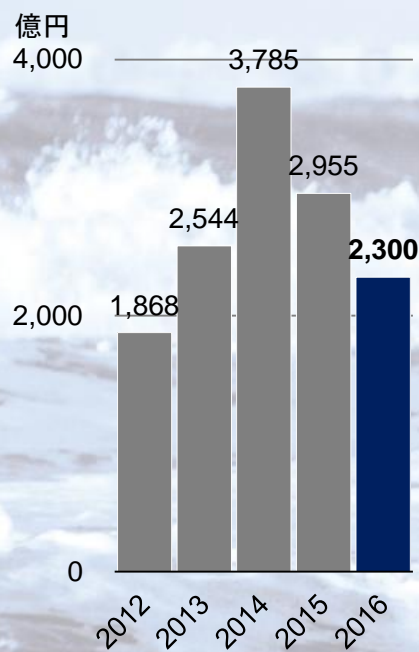
- 経常利益は44億円
- 前年同期に生産を停止していたMV11が操業を再開したことや、建造工事において追加工事を受注したこと等により営業利益が17億円と前年同期比13億円増加
- 持分法による投資利益は26億円と前年同期比8億円増加

- 経常利益の増加に伴い親会社株主に帰属する当期純利益も増加

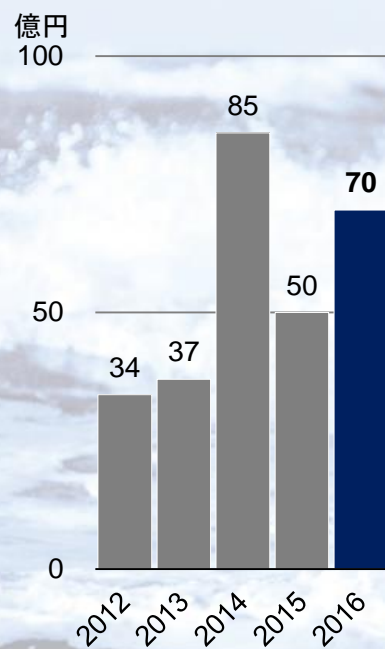
# 2016年12月期：業績見通し

- 業績見通しは期初から変更なし

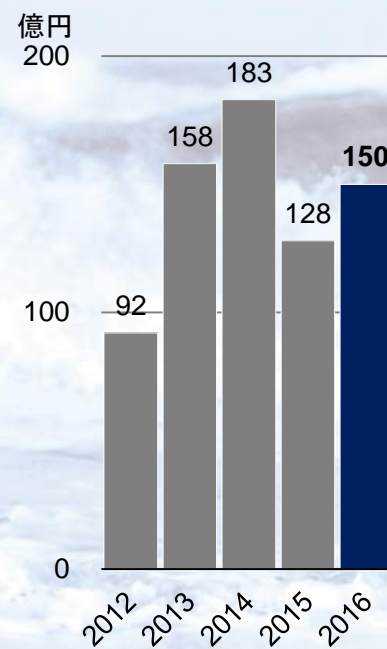
## 売上高



## 営業利益



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する当期純利益

